



JPI催しのご案内

2020
2

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 令和2年2月20日(木) [第1部] 13:15~15:00 [第2部] 15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：3,300円(1部会、税込)

第1部 第230回包装資材研究会

13:15~15:00

【テーマ】海洋プラスチック問題と資源循環—包装技術への期待

プラスチックは私たちの暮らしに定着し、様々な生活分野や産業分野に貢献している。しかし、使用後の不適切な廃棄や、不十分な廃棄物管理等により、使用済のプラスチックが陸域から河川を通じて海洋に流出し、地球規模の問題になっている。我が国政府においても、海洋プラスチック問題への国際的関心の高まりや、欧州委員会の欧州プラスチック戦略公表を踏まえて、我が国のプラスチック資源循環戦略の策定に向けた議論が進められ、2019年5月31日に九省庁連名によるプラスチック資源循環戦略が公表された。一方、日本プラスチック工業連盟においも、連盟独自の資源循環戦略を、国に先立つ2019年5月22日に公表している。本講演では、国のプラスチック資源循環戦略について、その策定に委員として参加した立場から解説するとともに、日本プラスチック工業連盟の海洋プラスチック問題への取組みと、プラスチック資源循環戦略を紹介する。また、容器包装業界への期待も述べてみたい。

【講師】日本プラスチック工業連盟 専務理事

岸村 小太郎 氏

【コーディネーター】味の素AGF(株) 開発研究所 コーヒー開発グループ 参事 包装専士

小林 豊 氏

藤森工業(株) 研究所 イノベーションセンター 開発企画グループ 包装専士

佐藤 陽 氏

第2部 第108回包装情報研究会

15:15~17:00

【テーマ】海洋プラスチックごみ問題について(CLOMAの取組を中心に)

地球規模の課題となっている海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、昨年1月にCLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)が発足し様々な関係者が参加されています。今回は、CLOMAの情報共有・マッチング、国際連携などの取組紹介を中心に、我が国の海洋プラスチックごみ対策などについてお話させていただきます。

【講師】経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長(紙・パルプ担当)

山田 真道 氏

【コーディネーター】キッコーマン食品(株) 商品開発本部 設備開発部 容器包装開発チーム チームリーダー 包装管理士

桑垣 傳美 氏

花王(株) 包装容器開発研究所 室長

岩坪 貢 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。
お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
参加登録を頂きたくお願い申し上げます。

URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤

TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

2 月度の見学会はございません。

第45回段ボール包装設計コース

～初心者を対象に段ボールの特性・包装設計を学ぶ～

●開催要領

日 時：令和2年2月13日(木)～14日(金) 10:00～17:30

参加費：1名につき 会員：44,000円 / 一般：55,000円 (消費税・テキスト代含む)

会 場：(公社)日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定 員：40名 (定員になり次第締切となります)

講 師：レンゴー(株) パッケージング部門 開発本部 包装技術部 東京包装技術第一課 担当部長代理 包装専士 大谷 昌義 氏
王子コンテナ(株) 営業本部 CS推進部 包装技術 主幹 包装管理士 小林 昌弘 氏

●スケジュール(予定)

時 間	内 容
2月13日(木) 座 学	【段ボールの基礎】包装産業の規模・段ボールの特性・製造と設備・強度特性 他 【包装設計に必要な知識】段ボール箱の設計手順、寸法設計、圧縮強さ、材質選定、緩衝設計 他
2月14日(金) 実 習	【ケーススタディ実習】事例別グループに分かれ、段ボール箱を試作・発表資料を作成 【ケーススタディ発表】グループごとに試作品を発表・講評及びディスカッション 他

詳しくは専用パンフレット及び当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)にてご確認下さい

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第28回化粧品包装セミナー

●開催要領

■日 程：令和2年2月27日(木) 12:30～16:50

■会 場：公益社団法人日本包装技術協会 A会議室

■主 催：公益社団法人日本包装技術協会

■定 員：80名

■参加費：会員14,300円 ・会員三名同時申し込み13,200円 一般18,700円 (消費税・テキスト代含む)

●プログラム

時間	講演内容	講 師
12:30～13:20	「ウレタンフォーム素材概論」	(株)イノアックコーポレーション 西村 嘉修 氏
13:30～14:20	「流通や通販現場での課題に対応した様々な包装形態・システムについて」	レンゴー(株) 藤井 利明 氏
14:30～15:20	「泡スタンプハンドソープの容器開発 一楽しくて簡単な手洗いでキレイの習慣化を目指して」	花王(株) 大西 洋 氏
15:30～16:50	質問タイム	講師 企画委員

専用パンフレットにてお申し込み下さい。当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)からもご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

2019年度 医薬品包装セミナー

◆SDGs、医療安全の実現に向けた医薬品包装の役割を考える◆

■日 程：令和2年3月13日(金) 10:00～16:00

■会 場：(公社)日本薬学会 長井記念ホール

■参加費：会員1名 20,900円 *3名同時にお申込みの場合は 1名16,500円 / 一般1名 28,600円

時 間	テーマ	講 師
10:00～11:10	環境と包装 (新しい環境課題下でのバイオマスプラスチックの動向と医薬品包装)	(一社)日本有機資源協会 木村 俊範 氏
11:20～12:30	医薬品個装箱の改ざん防止機能を医療現場が求める 機能と併せて考える	富山スガキ(株) 跡治 立多 氏
13:30～14:40	薬物治療と服薬管理	(株)MediFrame 和田 敦 氏
14:50～16:00	選ばれる医薬品表示や包装とは ～医療安全の観点から～	京都府立医科大学付属病院 四方 敬介 氏

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。